

平成23年度 事業計画

特別養護老人ホーム川俣ホーム

川俣ホーム（短期入所生活介護）

川俣ホームデイサービスセンター

1. 事業方針

- (1) 介護従事者の質の向上及び全職員の提供するサービスの質の向上を目指し研修計画を策定し、教育訓練・人材【人財】育成に努め、また管理職は、テクニカルスキル（仕事をこなすための技量）だけではなく、ヒューマンスキル（人格）を見つめ、高めるための教育を推進する。研修計画に関しては、効率的かつ確実に成果が挙げられるような仕組み・手法を取り入れることとする。
- (2) 「お客様の苦情は宝の山」に象徴されるように、全職員の苦情・クレームに対する認識・意識を変革し、積極的に苦情（クレーム・相談・問い合わせ・要望を含む）に耳を傾け、改善・分析して顧客ニーズに迅速に対応することにより、顧客満足と企業価値の向上につなげることをシステムを構築・運用する。
- (3) 社会福祉法人信達福祉会の職員として、上司・部下がともに学び合い、法人職員として相応しい社会人の育成に努める。
- (4) 経営の効率化・安定化のためには、常に採算を考えることが重要であり、全職員が経営状況を把握し、コストコントロールを図る。
- (5) 職員の福利厚生の実現を図り、効率的な年次有給休暇の活用を促進し、チームワークの強化や業務改善を積極的に図り、時間外労働時間の削減を目指し、「ワークライフバランス（仕事と生活の調和）」の実現を推進する。
- (6) ご利用者様の人権擁護を継続し、さらに推進していく。
- (7) リスクマネジメントの強化を図り、リスク軽減と再発防止を徹底し、安心・安全な施設を目指す。

2. 事業内容

(1) 介護

- 新 ① チームワークや業務改善を積極的に図っていくとともに、ご利用者様の要介護区分の重度化による心身の状態の変化を十分に把握し、心身の状態に適した食事・排泄・入浴等の基本的介護サービスの充実とゆったりと寛げる生活環境づくりに努める。
- 新 ② 川俣ホームリスクマネジメント委員会を中心に組織的に事故の分析、改善策の周知徹底、マニュアルの習得に努め、サービスの質の向上により安全確保及び事故防止に努める。
- 新 ③ ご利用者様個々の意向を尊重し、個人のプライバシーへの配慮を行った居室空間の整備を行うとともに、ご利用者様が自由選択を行えるよう、ご利用者様との関わりを大切にす。
- ④ 看護職員との連携を強化し、心身機能の低下予防及び異常時の早期発見・早期対応に努め、ご利用者様の安心・安全の向上に努める。

(2) 看護

- 新 ① ご利用者様が安心して生活できるよう、多職種連携・協働を強化する。
- ◇ 医療行為・・・口腔内のたんの吸引、胃ろうによる経管栄養の実施。
 - ◇ 機能回復訓練・・・日常生活動作訓練（食事、排泄等日々の生活の中で潜在能力の維持）

◇心身機能の低下予防、異常時の早期発見、早期対応・・・入院者を最小限に抑え、稼働率の維持向上を図る。

②感染症予防のため衛生管理と衛生教育の徹底を図り、万が一発症した場合は、関係機関との連携を迅速に図りながら感染の蔓延を防止する。

(3) 相談援助

新 ①ご利用者様全員に個別の相談が出来る機会を定期的に設けるとともに、ご家族様と意見交換が積極的に行えるよう、随時相談体制を設けていく。

新 ②特養入所待機者の状態確認や他事業所との定期的な連絡、随時の面接調査を行なうことにより、円滑な入所受け入れ体制を築いていく。

③書類の整理や手続き等の迅速な処理、預り金等の代行業務の適正化に努める。

④定期的なサービス担当者会議の開催により、個別のニーズに応じたサービス計画書を作成し、他職種連携・協働での確実な実施を行なう。

(4) 栄養

新 ①栄養マネジメントを実施し、他職種協働でご利用者様の状態に応じた食事の提供を行なう。

②選択食の実施等を通し、デイサービスご利用者様への食事サービスの充実を図る。

③厨房機器、備品の適切な取り扱いと管理を行なう。

④厨房内の快適な作業環境の維持に努めるとともに、衛生管理の徹底に努める。

(5) 事務

新 ①常にコストコントロールを意識しながら、正確かつ迅速な会計処理業務を行なう。

(6) デイサービスセンター

新 ①新規利用者の掘り起こしに努める

I. 居宅介護支援事業所へ定期的に利用状況や空き状況の情報を提供する。

II. 広報を活用し、ご利用者様やご家族様、地域の方々に向け事業所のサービス内容などを広く伝える。

②サービスの向上

I. ご利用者様やご家族様の声から真のニーズを捉え、サービスの改善に活かす。

II. 職員の危機管理意識を高めることで、ご利用者様の安全を第一に考えたサービスを提供する。

③職員の資質の向上

I 内部研修の実施により、専門職としての倫理観及び意識の向上を図る。